

## 2004年 1月新春懇話会

新春懇話会 平成16年1月9日(金)18時~20時 荳手第2ビル5F,出席者31名(文中敬称を略しています。)

心地よい寒さを感じずる新春らしい日の開催となった。

まずは、佐藤機械部会長からの挨拶。今をさかのぼること100年、1904年は日露戦争の年であり、さらにさかのぼった604年は「和を以って尊しとなす。」の聖徳太子の17条憲法が公布された年とのことである。本年、機械部会でも、和を以って団結しながら、発展してゆこうと結ばれた。司会者より、技術士の道を開拓されてきた畑明先輩が黄綬褒章を受勲したとの明るい報告がなされた。続いて、幹事団全員の1分スピーチによる自己紹介、および重要事項の報告がなされた。広報グループからは、今年予定されている「業績報告大会」、「論文特集号」への積極的な応募の呼びかけがあった。また、技術士会のHPへのアクセスに必要なID番号を各自、取得されるよう注意もあった。ここまでで、思いの外時間がかかってしまった。しびれを切らしたような司会者の指名の下に、本日の最年長、竹村の発声で威勢よく乾杯。安藤理事は、「技術士の知名度向上に向け積極的に行動してゆく。まずは、会員の増加を図ってゆく。」との頼もしい挨拶があり、大きな賛同の拍手を受ける。さらに、幹事団の自己紹介が続いた。しばし、歓談の花があちこちで咲いた後、諸大先輩から「機械部会は人脈作りに最適の場」、「落語など仕事と直接関係ない物の中にキーワードがある。」など含蓄のあるスピーチが続いた。各種展示会に出展もしている湯浅は、昨年描かれた油絵をパワーポイントを使って紹介する。感嘆の声があちこちから聞こえた。他にも竹村(日本画)、田所(油絵)、佐鳥(水彩画)と絵画の趣味は多いと紹介があった。さらにスピーチ、歓談が続いた後、日本技術士会事務局の浅井様、西村様よりのスピーチをいただいた。全員での集合写真。どなたかのリードで「1+1=ニィー」と大きな唱和。きっといい写真が撮れたはずです。「修習技術士の育成」「機械部会は社外を知るよい場」などと、さらにスピーチが続いた。会は、はや終盤を迎え、会場は、あちこちでにぎやかな歓談で盛りあがっている。例年なら、昨年ご逝去された野田廣太郎様の歌舞伎の唄いがある頃、一抹の寂しさが会場に漂う中、竹村が「三人吉佐、大川端」を披露。やんやの喝采。今年は、出席者が31人と、やや少なかったものの、出席者全員がスピーチすることが出来、にぎやかで楽しい懇話会となった。関矢副部会長が次回の会の案内をし、最後に河上の音頭による3本締めで余韻を残しながらの閉会となった。

The new year party was held on 13th,Jan.(Fri) with 31 members.The party was opened with the speech of the president,Mr.sato. Then good news were reported that Mr. Akira Hatake received a valuable decoration called "Ouju Houshou". After the toast proposed by Mr. Takemura, some speeches were followed. In the speech, the events of the IPEJ scheduled in this year were introduced. Mr. Ando insisted " To increase the members of the IPEJ is very important for us , PE, to be more recognized." Mr. Yuasa introduced his pictures painted in last year, and Mr.Takemura introduced some phrase of "Kabuki". The party was finished at 8:00 PM with good conversations and good speeches.

(宇津山 俊二 記)